

# 第50回茨城県障害者技能競技大会

## 【ビルクリーニング競技課題】

### ◎一般的な注意事項

1. 課題には、時間が定められています。  
所要時間：9分以内
2. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
3. 競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、挨拶、後始末、全体評価、作業時間の6面から審査し、加点方式によって行われます。
4. 作業に適した服装をしてください。
5. 作業開始の指示は審査員が行います。「始めます」、「終わりました」の申告は、競技者自身で行ってください。
6. 所要時間が過ぎても作業は完成させることにします。

### ◎課題：弾性床清掃

1. 作業面積は16㎡（4m×4m）とし、アルミ枠により区画されたものとし、ます。
2. 床材質は塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
3. 床面の掃き・拭き作業です。
4. 作業に使用する色々な資機材・消耗品は、過不足無く準備されているか点検してください。
5. モップの柄は長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用ダストクロスは競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし50m程度をまいたものとし、ます。
8. アルミ枠により区画された上には壁があるものとして作業を行ってください。
9. 作業場所にある机は移動させないでください。
10. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

### ◎その他注意事項

1. 競技者は、競技説明の後、自分の競技の順番がくるまで「選手控え室」内で待機してください。
2. 競技者は、自分の競技が終了した後は、「選手控え室」に入室することはできません（ただし、「選手控え室」に手荷物が残っている場合は、大会係員スタッフに申し出てください）。
3. 「選手控え室」に入室できるのは、自分の競技が終了していない競技者のみとし、引率者、関係者及び見学者は入室できません。

課題

弾性床清掃

時間：9分

作業手順 1-1

作業手順	作業方法	着眼点	備考
資機材を準備する	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと。) ①モップ柄の長さを調整する。 ②ダストクロスをヘッドに装着する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後審査員の指示に従い作業準備に入る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、始めますと挨拶を行い競技を開始。	片手をあげ、開始の宣言をする。	作業開始を申告する。
作業準備	作業標示板を立てる。	作業の邪魔にならず通行人からよく見える場所に立てる。	幅木枠のコーナー部分に当たらない程度に間隔を空けて立てる。
入室の挨拶	入り口にて室内に向かって入室の挨拶を行う。	失礼します等一礼、挨拶し入室。	
椅子上げ	作業前にイスを机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	① 乾式モップは、コート(作業場所)入口の養生マットの上でセットする。		入り口も幅木・コーナーも前進作業。
	② 乾式モップを持ち、外から入口を除塵し、コートへ入る。	・片方の手は柄の先端を親指で押さえもう一方の手は順手で(逆手で持たないこと)。	乾式モップの持ち手は、作業途中で持ち替えない。
	③ 幅木側・机の下・中央部の順に作業を行う。	・乾式モップのヘッドは、左右の位置で正確に半回転させ、横一直線で前進移動する。 ・モップは、叩かない、戻らない、浮かさない、ぶつけない。 ・押し幅が1/4程度重なるように。	入り口も幅木・コーナーも前進作業。
	④ 前進しながらごみを出口に向かって一ヶ所に集める。	・ごみの上を歩かない。 ・机の下の除塵も確実に行う。	

作業手順	作業方法	着眼点	備考
除塵作業 (掃き作業)	⑤ヘッドをモップ柄から外して、使用済みのダストクロスを取り、カートの袋に入れる。	・ダストクロスは汚れた面を内側に折りたたむ。	入り口も幅木・コーナーも前進作業。
	⑥ヘッドはカートの上段へ邪魔にならないように置き、柄は元の位置に戻す。	・カートの上段へスポンジ面を上にする。	
	⑦ほうきとちり取りを持って作業場所へ入る。		
	⑧集めたごみを出口に下がりながら取る。	・自在ぼうきの毛先をちりとりの中に確実に入れる。 ・ごみを取り残さない。 ・机の下の除塵も確認する(取り残しがあれば除塵する)。	
	⑨使用したほうきとちり取りをカートへ納める。	・元の位置へ戻す。	

課題

弾性床清掃

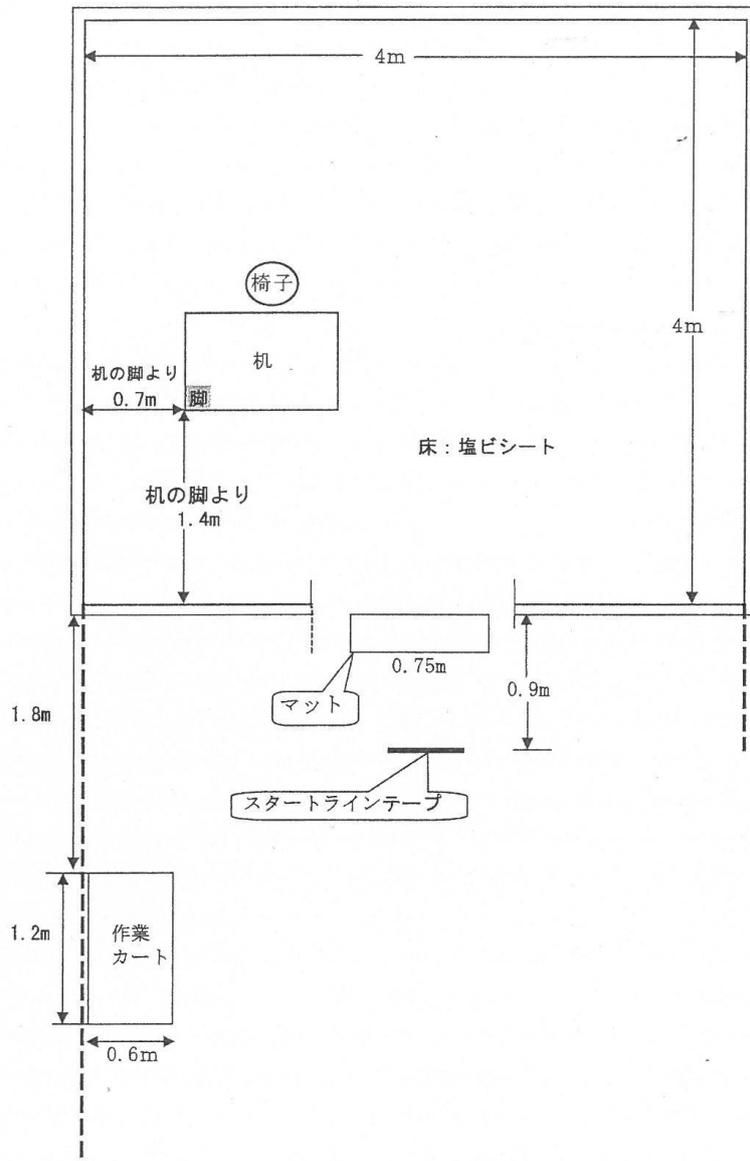
時間：9分

作業手順 1-2

作業手順	作業方法	着眼点	備考
水拭きをする (モップ)	①水拭きモップは、コート（作業場所）入口の養生マットの上でセットする。		
	②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。	・幅木側は押し作業で行い、拭いたところは踏まない。机の下部を残さないように。	
	③コーナー・机の廻り・出入口はラージに手を添えて拭く。	・幅木・机の脚部に触れないように。	
	④モップで全面積を拭く。	・上の手は柄の先端を親指で押さえて下の手は順手で（逆手でもたないこと）。 ・拭き幅の中央付近に立ち横一直線に拭く。 ・拭いたところは踏まない。 ・拭き残し、拭きムラのないように。	
	⑤モップは1区画ごとに方向転換し、モップ全体を使って拭く。	・モップは1区画ごとに1～2回裏返す。 ・幅木・机の脚部に触れないように。	
	⑥モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・流し拭きにならないように。 ・ごく自然な姿勢でリズムカルに操作する。	
	⑦拭き終わったら養生マットの上でモップを外し柄とともにカートへ納める。	・モップ柄とラージはそれぞれカートの元の位置へ戻す。	
椅子を下ろす	安全に音を立てないように下ろす。	・足の上に落とさないように注意する。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	・資機材の忘れ、ゴミの取り忘れなどの点検を行う。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	・失礼しました等、一礼し挨拶を行う。	

作業手順	作業方法	着眼点	備考
作業標示板の回収	作業標示板をカートへ納める。	・元の位置に戻す。	
終了挨拶	所定の位置に立ち終了挨拶を行う。	・終わりました、終了しました等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図



(1) 競技場に準備されているもの

課題用

品名	寸法又は規格	数量	備考
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本	
モップラッグ(房糸)	260g 白色	1枚	
小型ぼうき	30cm幅用	1本	
乾式モップヘッド	幅63cm	1枚	
文化ちり取り	ダストパン	1個	
ダストクロス	69cm幅の不織布	1巻	
作業標示板	プラスチック製サインボード(黄)	1枚	
おがくず		少量	
ビニール袋		1枚	

(2) 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1着	
作業帽又は三角巾		1個	
作業靴		1足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。